



上海大学

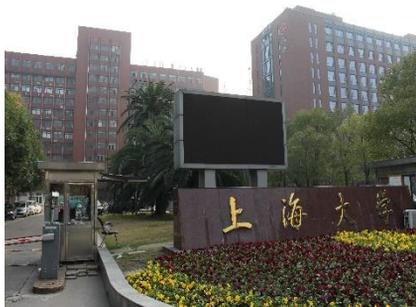
Shanghai University



●学部学生 23,036人 ●大学院生 12,181人 ●教職員 5,500人 ●留学生 3,630人

ホームページ <http://www.shu.edu.cn/>

交流協定締結年月日：2003年9月1日 主管学部：経済学部



延長キャンパス



宝山キャンパス



授業風景

国際交流の特色

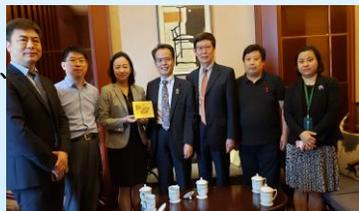
上海大学は、母体の設立は1922年に遡り、1994年に上海にある4つの大学を統合して発足し、理工の結合と文理浸透の長所を発揮でき、理学、工学、経済、管理、商学、文学、美術、法学などの諸学部を有する総合大学である。また、中国の国家プロジェクトである「211プロジェクト」に選ばれており、上海における主要な高等教育機関として位置付けられている。上海大学は、21の学院を擁し、学部は61、大学院は86のプログラムがある。中国における高等教育機関の中でも、特に科学分野での研究に強みをもっており、72以上の研究機関や研究センターを立ち上げている。

交流実績（平成30年度～令和2年度）

年度	H30	H31	R2
受入・派遣			
学生の受入	24	9	5
学生の派遣	5	1	0
研究者・職員の受入	5	2	0
研究者・職員の派遣	1	3	0
オンライン交流参加者（本学）			0
オンライン交流参加者（相手機関）			0

教員からの声

上海大学との国際研究教育交流は2003年9月に木村好次元学長と井原理代元経済学部部長と上海大学関係者との間で交流協定調印により始まり、2013年に経済学部は主担当学部になった。これまでに長期交換留学生の派遣と受け入れが約30名、短期交流約50名、国際ワークショップ2回の交流実績があった。2019年5月、徳田雅明前副学長と姚峰教授は上海大学龔思怡副学長、崔巍国際交流処長、曩永有経済学院長を訪問し、両大学の研究教育交流等について意見交換した。上海大学との研究教育交流で良い成果が得られると期待できる。



経済学部教授 姚峰

学生からの声

私は外国人留学生を対象として国際交流学院に在籍して中国語を勉強しました。各個人のレベルに合わせてクラス分けがなされ、文法や会話といった基本的な授業の他に、中国における手紙やレポートの書式、表現などより実用的な内容も勉強することが出来ます。

日本でも報道されているように中国においてスマートフォンは日本以上に重要な生活ツールとなっています。お金の支払いなど生活に必要な多くの物事がスマートフォンのみで済むようになっており、現金を使う機会はほぼありません。より新しく便利なモノを求める向上心の高さを身をもって体感できます。文化、気候など日本と共通する部分も多く生活しやすい上海にて留学を経験してみてもいいでしょうか。

経済学部 松本翔太（2018年度入学）